

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）					実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源	その他		
合計							539,334,344	519,303,522	18,557,000	48,822	1,425,000		
1	新型コロナウイルス感染予防用マスク配布事業	福祉課	①ー ②ー ③感染予防対策用マスク30枚入り20,000箱 32,831千円 超過勤務手当 1,222千円 消耗品費 108千円 印刷製本費 86千円 郵送料 875千円 ④串本町の全住民	R2.4	R2.6	35,122	33,899,044	33,899,044	-	-	-	感染予防対策用マスク60万枚を購入し、串本町の全住民へ配布を行った。	感染予防対策用マスクを購入・配布したことにより、町民の方の安心安全の確保につとめ、町内等で感染防止、感染拡大防止につながった。
2	串本町小規模事業者等支援給付金交付事業	産業課	①新型コロナウイルス感染症の影響により経営が悪化した小規模事業者等に対し、店舗等の賃借料をはじめとする事業継続に係る資金を支援する。 この支援により、最悪のケースである廃業を免れ、収束後には経済活動の再開が期待できる。 ②③給付金交付額 27,378千円、事務費：447千円（超過勤務手当289千円、印刷製本費109千円、郵便料49千円） ④町内の小規模事業者 ※要件あり	R2.6	R2.10	27,825	27,823,988	27,823,988	-	-	-	交付件数623件。 交付金額27,378千円	地域経済を支えている小規模事業者を支援することで地域経済の維持と活性化が図られた。
3	まちなか・子育て応援弁当事業	産業課	①新型コロナウイルス感染症の影響による小中高等学校等の休業で、こどもの食事の負担が生じている保護者への支援を目的とした「子育て応援弁当クーポン」の交付を行う。また、感染症対策により経営が悪化しテイクアウト事業に移行している串本町内の飲食店の支援を行う。 ②③まちなか・子育て応援弁当補助金：5千円×1,600件＝8,000千円 事務費1,041千円（消耗品費281千円、印刷製本費408千円、郵便料352千円） ④※住民基本台帳に記載された平成14年4月2日以降に生まれた児童（基準日令和2年6月1日）	R2.5	R2.11	9,041	8,626,679	8,626,679	-	-	-	子育て応援弁当クーポン1,591人×5,000円※住民基本台帳に記載された平成14年4月2日以降に生まれた児童（基準日令和2年6月1日）	コロナ禍における厳しい経済状況の中、子育て世帯へ育児負担軽減となったことや、町内飲食店への利用促進を図ることができた。
4	串本町学生生活支援事業	教育課	①ー ②ー ③学生生活支援給付金：30千円×258人＝7,740千円 事務費95千円（印刷製本費78千円、郵便料17千円） ④保護者が串本町に住所を有し、学校教育法等に定める学校に在籍しているもの	R2.5	R2.10	7,835	7,834,456	7,834,456	-	-	-	給付人数258人	コロナウイルス感染症拡大による保護者の仕送りや、学生のアルバイト収入の減少が続く中で、就学継続のための支援が図られた。
5	串本町準要保護児童生徒食費援助事業	教育課	①小中学校の臨時休業措置により、経済的に困難な状況にある準要保護世帯の家計の負担軽減を図るため、給食費2か月分相当額を交付する。 ②③準要保護児童生徒食費援助給付金 ：小学校4,200円×103人×2ヶ月＋中学校4,500円×58人×2ヶ月＝1,388千円 事務費9千円（郵便料9千円） ④串本町に住所を有し、学校教育法等に定める学校に在籍しているもの	R2.5	R2.9	1,397	1,395,632	1,395,632	-	-	-	町内小・中学校の児童生徒保護者を対象に給食費2ヶ月分を無償化する。小学校103人、中学校58人。	無償化により、子育て世帯の負担軽減が図られた。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当額	国・県補助 金	一般財源			その他
6	串本町立小中学校臨時休校対策事業	教育課	①— ②— ③指導員が学童保育へサポートに行くための旅費 20千円、消耗品費 800千円(教材、コピー用紙等) ④串本町立小中学校	R2.4	R3.3	820	731,872	731,872	-	-	-	小学校の臨時休校により、児童を自宅で待機させておくことが難しい家庭へ対応するため、学童保育所へ指導員がサポートを行う体制をとった。	家庭学習の支援や保護者の支援及び経済活動の維持を図ることができた。
7	串本町立小中学校保健衛生用品整備事業	教育課	①小中学校での新型コロナウイルス感染症の集団感染リスクを避けるため保健衛生用品等を整備する。 ②③消耗品費 3,461千円(飛散防止用衝立、手指用消毒液、マスク等) 備品購入費 179千円(非接触体温計) 備品購入費 244千円(加湿器) ④串本町立小中学校	R2.5	R3.3	3,884	3,755,588	3,755,588	-	-	-	町内の小・中学校へ手指用消毒液2607個、マスク339箱、非接触体温計14個、加湿器14台を設置した。	換気をこまめに行い、消毒や手洗いを奨励することで感染防止、感染拡大防止につながった。
8													
9	串本小学校手洗場設置事業	教育課	①児童の新型コロナウイルス感染症予防対策として、手洗い場が校舎の東側に1か所しかなく、校舎の西側の2階・3階に手洗い場を増設する。 ②③工事請負費 735千円(手洗い場増設2箇所) ④串本小学校	R2.4	R2.5	735	734,470	734,470	-	-	-	串本小学校の校舎西側2階・3階に手洗い場を設置した。	設置したことにより、学校内等での感染防止、感染拡大防止につながった。
10	串本町コミュニティバス利用促進事業	企画課	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う営業自粛や外出の自粛によって、地域の消費が落ち込んでいるため、コミュニティバスの利用料を無料(期間限定)にすることで、町民の外出を促進し、買い物等へ行きやすくなることで、地域経済の活性化を図る。 ②③コミュニティバス利用料 5ヶ月分 7,000千円 利用啓発チラシの消耗品費 100千円 定員オーバー時のタクシー利用料 500千円 ④コミュニティバス利用者	R2.7	R3.1	7,600	6,994,790	6,994,790	-	-	-	コミュニティバス利用料 49,575人分(5ヶ月間)。	通常料金の4~7月の平均利用人数は、6,597人であり、無料とした8~12月の平均利用人数は、9,915人となったことから3,318人増えており、地域経済活動の回復に一定の効果があったものと分析。
11	地域の事業者支援事業	病院	①新型コロナウイルス感染拡大防止のために休業要請に協力いただいている事業者に対して、 (1)町立病院所有の土地を駐車場用地として貸している用地使用料の減免 (2)町が管理している串本温泉の温泉利用料の減免を行うことで事業の支援を行う。 ②③ (1)ホテル事業者の用地使用料減免に係る減収分540千円を串本町病院事業会計に繰り出す。 180千円×3ヶ月=540千円 (2)一般会計に入る予定だったホテル事業者の温泉使用料減免に係る減収分396千円を補填。 396千円×1ヶ月=396千円 ④町内のホテル業者	R2.5	R2.8	936	936,000	936,000	-	-	-	ホテル事業者に負担となる駐車場用地又は温泉利用料の一定額の減免を実施した。	コロナ禍で厳しい状況に置かれているホテル事業者の負担軽減につながった。
12													

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源			その他
13	在宅高齢者運動指導支援員の雇用促進事業	福祉課	①近年、集団で運動することに納得して実施する方は固定化されており、運動を広めていくには個別の対応が必要になってきている流れがある。感染蔓延時に個人が自宅での継続した運動を習慣化できるよう支援する必要性があり、外出制限下でも認知症や運動機能の低下予防のため在宅での運動指導が必要。 3か月を1クールとする「介護予防運動教室」を2クール開催し、運動・口腔・栄養指導を行う。理学療法士、歯科衛生士、摂食嚥下障害看護認定看護師に事業委託する。 ②③【1クール】212千円×2クール=424千円 ・理学療法士(1名) 40千円×5回(体力測定2回、運動指導3回)=200千円 ・歯科衛生士(1名) 6千円×1回=6千円 ・摂食嚥下障害看護認定看護師(1名) 6千円×1回=6千円 ④串本町内在住の60歳以上高齢者	R2.8	R3.3	424	410,200	410,200	-	-	-	3か月1クール(全9回)を2クール実施。24名が参加した。理学療法士、摂食嚥下障害認定看護師、保健師、栄養士がスタッフとなり体力測定+運動メニューの指導を行い自宅でのセルフケアを行えるように教室を開催した。 ・感染拡大に伴う外出自粛の影響を受ける高齢者の虚弱状態防止につながった。	
14	串本町農林水産業者等支援給付金	産業課	①新型コロナウイルスによって影響を受けた町内の一次産業従事者に対して、一律30千円のクーポン券を給付し、経営維持、収束後の販売促進を図る。 ②③一次産業従事者に対して一律30千円のクーポン券を給付 農林業漁業者 500名×30千円=15,000千円 事務費 1,092千円(超過勤務手当720千円、需用費330千円、役務費42千円) 合計 16,092千円 ④串本町内の一次産業従事者	R2.6	R3.3	16,092	13,899,838	13,899,838	-	-	-	農林漁業者458事業者へ30千円のクーポン券を支給した。 売り上げが減少した農林業漁業者へ支援することで、経営継続の意欲向上へつながった。	
15	串本町妊産婦特別給付金交付事業	福祉課	①新型コロナウイルス感染症予防対策に留意して過ごしている妊産婦に対して給付金を交付し、経済面における支援を行う。 ②③消耗品 5千円 ファイル他消耗品 郵便料 17千円 84円×120通=10,080円 99円×60通=5,940円(返信用) 負担金、補助及び交付金4,900,000円 (10万円×49名) ④(1)4月27日(基準日)において妊娠中の者であって、かつ出産日が4月28日以降の者 (2)令和2年8月31日までに妊娠届出書を提出した者であって、かつ出産予定日が令和3年3月31日までの者	R2.7	R2.11	4,922	4,814,847	4,814,847	-	-	-	給付金人数48人 給付金支給により、経済支援を行ったことで妊産婦の経済的負担軽減が図られた。	

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源			その他
16	串本町生活 支援給付事 業	企画課	①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的な負担が増えている全町民に対して、一人あたり5千円の現金を給付し、町民の負担を軽減する。併せて、町内で利用できる商品券5千円分を全住民に対して配布することにより、商店の消費拡大による商業の活性化を図る。 ②③ 【現金給付】給付金 78,180千円 (15,636人(特別定額給付金を受給された方と令和2年4月28日～7月17日の間に出生又は転入された方で7月17日現在で串本町民の方))×5千円 超過勤務手当 20千円、印刷製本費 130千円(通知書79千円 折込チラシ51千円)、通信運搬費 525千円 【商品券配布】補助金 186,684千円(クーポン代1人12,000円×15,557人(6月30日現在の串本町人口)) 印刷製本費 2,682千円(クーポン券1,708千円、ハガキ印刷238千円、チラシ印刷736千円)、消耗品費 100千円(住所シール100千円)、郵送料 2,170千円、委託料 1,836千円(クーポン交換委託料1,836千円 郵便局) ④串本町の全住民	R2.7	R3.12	272,327	266,379,748	266,379,748	-	-	-	【現金給付】 給付人数15,631人。 【商品券配布】 ①-1(第1期)給付人数 15,198人。換金額 75,639,400円。 ①-2(第2期)給付人数 15,227人。換金額 105,478,300円。	感染症拡大の影響を受けている町民の生活安定支援及び町内での消費喚起を促すことで地域経済とコミュニティの活性化が図られた。
17	串本町コミュ ニティバス感 染症対策事 業	企画課	①新型コロナウイルス感染症予防のため、バスの車内に抗ウイルス・抗菌加工を施す。 ②③抗ウイルス・抗菌加工用の 可視光応答型光触媒スプレー 1本 3,500円 バス1台 6本 × 7台 × 2カ年分 = 294千円 ④地方公共団体	R2.8	R3.3	294	294,000	294,000	-	-	-	コミュニティバスに抗菌抗ウイルス加工を施すことで感染予防と安心して利用できる衛生的な環境整備を図ることができた。	新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった。
18	避難所必需 物品整備事 業	総務課	①避難所における感染症対策として、受付の際など、避難者の健康状態を確認するため、非接触体温計を使用することで、感染拡大の防止を図る。避難所における感染症対策として、アルコール消毒液、間仕切り用テント等の物資および資材を整備し、感染防止を図る。 ②③消耗品費801千円 (使い捨て手袋100箱 96,800円、アルコール消毒液20本 69,300円、スプレー式容器150個 118,800円、ハンドソープ500本 202,400円、フリーザーパック1,000箱 181,500円、ペーパータオル1,000箱 132,000円) 備品購入費 5,663千円 (非接触体温計25台 330,000円、間仕切り用テント(屋根なし)100張 2,640,000円、間仕切り用テント(屋根あり)20張 1,254,000円、段ボールヘッド100組 1,279,300円、扇風機10台 159,500円) ④地方公共団体	R2.7	R3.3	6,464	5,540,840	5,540,840	-	-	-	避難所等に必要物品(使い捨て手袋、アルコール消毒液、スプレー式容器、ハンドソープ、フリーザーパック、ペーパータオル、非接触体温計、間仕切り用テント、段ボールヘッド、扇風機)を購入し、配備した。	備蓄したことにより、避難所を開設した際に感染防止、感染拡大防止につながった。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当額	国・県補助 金	一般財源			その他
19	社会教育施設新型コロナウイルス感染予防事業	教育課	①文化センター施設等において入場する時点で発熱患者を把握や公民館施設のトイレや会議室等の換気を行い、新型コロナウイルスの感染拡大の防止を図る。 ②③工事請負費890千円(網戸設置工事 890千円) 備品購入費810千円(サーマルカメラ 484千円、ビッグファン 35千円×6台×1.1=231千円、透明パーテーション 95千円) ④地方公共団体	R2.7	R2.11	1,700	1,632,070	1,632,070	-	-	-	文化センターへ網戸、サーマルカメラ1台、ビッグファン6台、透明パーテーション95枚の設置や公民館施設等4ヶ所へ網戸を設置した。	サーマルカメラの設置で発熱患者の把握や網戸を設置したことにより、害虫の対策と換気が可能となり、またビッグファン、透明パーテーションを設置することで、公民館内等で感染防止、感染拡大防止につながった。
20	学校施設新型コロナウイルス感染予防事業	教育課	①小中学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止として、30分に1回以上の換気が必要とされており、換気時の害虫対策を図るため。 ②③工事請負費5,530千円 網戸設置 小学校9校 4,130千円 中学校4校 1,400千円 合計 5,530千円 ④地方公共団体	R2.7	R2.11	5,530	5,526,249	5,526,249	-	-	-	町内の小学校9校、中学校4校に網戸を設置した。	網戸を設置したことにより、害虫の対策と換気が可能となり、学校内等で感染防止、感染拡大防止につながった。
21	新型コロナウイルス感染症対応修学旅行キャンセル料支援事業	教育課	①昨年度より予約していた修学旅行宿泊料のキャンセル料を支援する。 ②③小学校10校分1,604千円・中学校4校分2,000千円 補償、補填及び賠償金3,604千円 ④串本町内の小学6年生と中学3年生	R2.7	R3.3	3,604	296,717	296,717	-	-	-	町内の小学校10校、中学校4校の児童生徒の保護者へ修学旅行にかかるキャンセル料金の補助を行った。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校判断により中止とした修学旅行についてのキャンセル料を公費負担することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
22	新型コロナウイルス感染予防対策学校支援事業	教育課	①教室の消毒に使用した掃除用品やカーテン等の専用洗濯機の購入費用。 ②③備品購入費100千円(洗濯機1台 100,000円) ④地方公共団体	R2.7	R2.7	100	99,990	99,990	-	-	-	串本中学校へ専用洗濯機1台を設置した。	飛沫の掃除用品やカーテンを洗浄することで感染防止、感染拡大防止につながった。
23	休業要請支援金	企画課	①新型コロナウイルス緊急事態宣言が発令されたことにより、串本町総合運動公園・串本町B&G海洋センター・串本温泉浴場サングの湯を管理している指定管理者スポーツクラブNAS株式会社が、休業要請に応じてくれた支援金。 ②③支援金100万円 ④指定管理者 スポーツクラブNAS株式会社	R2.9	R3.2	1,000	1,000,000	1,000,000	-	-	-	休業要請支援金を支給することで、指定管理者の負担軽減が図られた。	休業要請に応じていただいたことによって、集客による密を避けて感染拡大防止に貢献できた。
24	串本町図書館新書購入事業	教育課	①外出抑制時に在宅で過ごす時間を豊かなものとし、また場所移転して新たにオープンを迎える串本町図書館において、蔵書を充実させて読書環境を充実させていくことを目的とする。 ②③備品購入費500千円(新書購入費500千円) ④地方公共団体	R2.8	R2.10	500	500,000	500,000	-	-	-	新書195冊購入。	蔵書、読書環境を充実させたことにより、在宅時間を有意義に過ごすことにつながった。また、3密防止のための滞在時間短縮だけでなく、図書館利用促進に繋げることができた。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当額	国・県補助 金	一般財源			その他
25	串本町スポーツ合宿等誘致促進事業費補助金	教育課	①新型コロナウイルスの影響で、多くの合宿や施設利用が中止になっている現状を踏まえて、串本町総合運動公園を中心としたスポーツ合宿誘致の利用促進を図り、宿泊施設を主とした町内の地域経済活性化に繋げていくことを目的とする。 ②③ (1)宿泊費補助 4,848千円 1人1泊2000円×延べ人数(上限50万円)を助成。 (2)トレーニング施設環境整備補助 1,500千円 トレーニング器具等の借り上げ及び運搬等に係る経費について、1団体あたり30万円を上限に補助。 300千円×5団体=1,500千円 ④串本町にスポーツ合宿に来られる団体	R2.9	R4.3	6,348	6,344,000	6,344,000	-	-	-	スポーツ合宿23団体。 トレーニング器具借り上げ及び運搬6団体。	スポーツ合宿誘致の利用促進を図られ、宿泊施設を主とした町内の地域経済活性化が図られた。
26	プレミアムお買物券増額事業	産業課	①商工会により販売しているプレミアムお買物券を例年より増額することにより消費拡大による地域活性化を図る。 ②③補助金15,000千円(3,000円×5,000部) ④お買物券購入住民	R2.10	R3.3	15,000	14,958,692	14,958,692	-	-	-	販売額10,000円×5,000セットを完売。流通金額65,000千円、換金額64,821千円。	補助額の増額により、住民への消費喚起を促すことで地域経済とコミュニティの活性化が図られた。
27	観光施設感染症対策整備事業	産業課	①海水浴場開設にあたり、新型コロナウイルス感染症対策のため、更衣室等の換気扇設置、屋外シャワーの増設、砂浜でのソーシャルディスタンス確保用の標示、啓発放送用の音響機器を整備することにより、海水浴場における3密の防止を図る。同様に、カヌー更衣室や待合室にも換気扇を設置する。 ②③消耗品費 130千円(屋外シャワー52千円、距離標示材料33千円、パーティション45千円) 印刷製本費 20千円(啓発チラシ20千円) 修繕費 266千円(換気扇取付266千円) 備品購入費 273千円(音響機器273千円) ④地方公共団体	R2.7	R2.11	689	680,158	680,158	-	-	-	屋外シャワー1組、ソーシャルディスタンス確保用の標示一式、パーティション一式、換気扇4台、音響機器一式を整備する。 総事業費 680,158円 消耗品費 136千円(屋外シャワー53千円、距離標示材料33千円、パーティション50千円) 印刷製本費 22千円(啓発チラシ22千円) 修繕費 264千円(換気扇取付264千円) 備品購入費 258千円(音響機器258千円)	海水浴場における3密の防止を図り、同様に、カヌー更衣室や待合室にも換気扇を設置することで感染予防を図った。
28	観光周遊バス運行支援事業	産業課	①観光周遊バスについて、和歌山県が県外からの訪問客の受入れの自粛要請を行った日から運行を再開するまでの期間(4月17日～6月18日)について運行費用を支援する。(今後の運行に係る路線の維持) ②③補助金 945千円 ・運行支援金 945千円(63日×15,000円/日) ④くしもと観光周遊バス推進協議会	R2.7	R2.8	945	945,000	945,000	-	-	-	新型コロナの影響で収入が減少しているバス運行事業者へ支援を行うことで、主に観光客の足である路線維持のための一助となった。	観光客の減少により、交通事業者の落ち込みも著しい中で、交通事業者の経済的支援に寄与した。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当額	国・県補助 金	一般財源			その他
29	串本町環境美化支援事業	住民課	①新型コロナウイルスの影響により、串本町美化推進協議会主催の夏季町内一斉清掃が中止となり、各地区においても3密を避けるために大勢の区民の参加を得ての環境美化活動が制限される状況の中で、各地区に環境美化支援金を支給することにより、地域の環境美化活動を推進するとともに、新型コロナウイルスの感染防止を図る。 ②③支援金 6,500千円(100,000円×65地区) ④串本町の各地区	R2.8	R3.3	6,500	5,833,970	5,833,970	-	-	-	町内59地区、支援金5,900,000円。(業務委託・用具購入の余剰分による返還金66,030円)	大勢の区民が参加する町内一斉清掃が中止となり、各地区の環境美化支援金を支給することで、地域の環境美化が推進された。
30	新庁舎における新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業	総務課	①新庁舎における新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を行う。 ②③【アクリルスタンド及びアルコールスタンド】 ・カウンター(席なし) 21,500円×1.1×23箇所×1/2=271,975円 ・カウンター(席あり) 18,600円×1.1×27箇所=552,420円 ・アルコールスタンド 38,000円×1.1×5箇所=209,000円 【ヘルスプライトエポリッシュ塗布】 ・カウンター、椅子類 655,864円×1.1=721,450円 ・トイレ、エレベーター、保健センターなど 3,140,000円×1.1=3,454,000円 ・扉取っ手 84,000円×1.1=92,400円 【サーマルカメラ】 ・正面玄関430,000円×1.1=473,000円 ④地方公共団体	R2.12	R4.1	5,775	5,822,163	5,822,163	-	-	-	来庁者及び職員間で接触を避け、飛沫感染等による感染拡大防止のために、アクリルパーティションを設置。	役場庁舎各課カウンターに仕切を設置し、感染予防と来庁者の安全安心を確保することが出来た。
31	消防本部感染防止対策用資機材整備事業	消防署	①新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染防止資機材の供給不足が起こり資機材調達に苦慮した。今後も新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるため、現場資機材の不足に陥らないよう十分な備蓄を確保する。 ②③感染防止対策用資機材 (内訳)感染防止衣上下衣(各300着)551,100円・サージカルマスク(3600枚)79,200円・消毒用エタノール(500ml×50本)46,750円・次亜塩素酸ナトリウム(1.8l×5本)5,775円 ④地方公共団体	R2.9	R2.12	683	682,825	682,825	-	-	-	救急時に必要な感染防止衣上下衣、サージカルマスク、消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウムの感染防止対策用資機材を購入。	感染防止対策用資機材について購入、備蓄したことにより現場資機材が確保され、救急隊員の感染リスクの低下につながることができた。
32	リモート会議用端末購入事業	企画課	①新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、インターネット回線を利用したリモート会議・総会が多く実施されるようになってきているが、対応できる端末が少ないことから、各課等で重複することなく利用できる端末を購入する。 ②③端末購入費 88,374円×10台=883,740円 ④地方公共団体	R2.8	R3.1	884	883,740	883,740	-	-	-	リモート会議用の端末を購入。	感染症対策として物理的な接触のないリモート会議が可能となり、感染拡大防止につながったと考えられる。また、遠隔地への移動にともなう、時間・コストが削減された。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源			その他
33	敬老祝い商品券配布事業	福祉課	①高齢者の新型コロナウイルス感染を防止するため、今年度の敬老会を中止としたことに伴い、代替事業として商工会商品券(2,000円分)を、町長のお祝いメッセージを添えて敬老会の対象者(75歳以上高齢者)へ配布し、祝意と敬意を表する。三密を避けた家庭での敬老の日の過ごし方を提案するとともに、長寿祝いに係る消費を喚起する。 ②③敬老祝い商品券 2,000円×3,953人=7,906千円 消耗品費 プリントナーなど 50千円 印刷製本費 窓あき封筒 4,000枚 34千円 役務費 郵送料(簡易書留) 367円×3,953人=1,451千円 ④75歳以上の高齢者 3,953人(基準日:令和2年9月15日)	R2.9	R2.11	9,441	9,025,357	9,025,357	-	-	-	敬老祝い商品券3,936人感染症対策で出費が増える中、高齢者世帯へ経済的な支援を行うことが出来た。	毎年行われていた敬老会中止の代替事業で、敬老の日の過ごし方を提案するとともに、現金でなく商品券を給付することで、貯蓄に回ることがなく、消費活動が刺激される効果もあった。
34	体成分分析装置購入事業	福祉課	①新型コロナウイルス感染予防のため、高齢者については外出を制限して運動不足となっており、健康に不安を抱えて生活している。体内の筋肉量・脂肪量・体のバランス・体内のたんぱく質などが可視化できる本装置を導入することにより特定保健指導、健康相談、地区サロンや老人会の出前講座、お元氣プロジェクト、介護予防運動教室に活用することによって適切な指導ができ、コロナ渦の中、健康で安心して生活ができるようになる。 ②③本体 1台 1,250千円 専用携帯バッグ 1個 25千円 管理ソフト 1式 120千円 インストール作業費用 50千円 合計 1,445千円+消費税 ④地方公共団体	R2.9	R2.10	1,590	1,348,050	1,348,050	-	-	-	体成分分析装置1台購入。	特定保健指導、介護予防運動教室など各講座等に活用することで適切な指導ができ、高齢者がコロナ禍でも健康で安心して生活を援助出来た。
35	PCR検査実施事業	教育課	①本年度の町内こども園、小・中学校で受け入れる県外からの教育実習予定者にPCRを検査実施し、児童・保護者の不安を払拭し、安心して教育実習生を受け入れる。 ②③役務費 教育実習生PCR検査手数料 串本こども園 4名分 ¥75,000- 潮岬こども園 3名分 ¥75,000- 上野山こども園2名分 ¥50,000- 町内小学校 2名分 ¥50,000- 町内中学校 8名分 ¥200,000- ④令和2年度 受け入れる県外からの教育実習生	R2.8	R3.1	450	450,000	450,000	-	-	-	PCR検査手数料、18人、450,000円。	県外からの教育実習予定者にPCR検査を実施したことで、児童・保護者の不安を払拭し、安心ができた。
36	潮岬学童保育所空調整備事業	こども未来課	①新型コロナウイルス対策として空気等清浄機能付エアコンを整備することにより児童の安全を確保する。 ②③工事請負費 潮岬学童保育所 空気清浄機能付エアコン整備(2台) ¥499,950- ④地方公共団体	R2.9	R2.9	500	499,950	499,950	-	-	-	潮岬学童保育所へ空気等洗浄機能付エアコンを2台設置した。	空気清浄機能付きエアコンを設置することにより、環境の改善を図ることができ、安心して臨時休校等の措置による学童保育所の対応を行うことができた。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を記載）	評価（事業目的に応じた評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源			その他
37	医療提供体制等構築事業	病院	①新型コロナウイルス感染拡大防止のために、病院において実施する、病室への排気ユニット・間仕切り設置工事、感染症外来での雨除け整備工事を行う。 ②③下記に係る費用5,000千円を病院事業会計に繰り出す。 ・感染対策排気ユニット設置工事 1,500千円 ・小児科感染症外来雨除け整備工事 3,500千円 ④地方公共団体	R2.4	R3.3	5,000	4,801,500	4,801,500	-	-	-	町立病院へ排気ユニット設置工事、感染症外来での雨除け整備工事を行う。	町立病院における新型コロナウイルス感染リスクの回避を図るとともに、施設内での蔓延防止対策、医療機関として安心安全な感染対策を構築できた。
38	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	教育課	①令和2年度国の補正予算(GIGAスクール構想)への串本町における対応。 災害やコロナウイルス等感染症対策の一つとして、学校の臨時休業等の緊急時において、子どもたちの「学び」を保障できる環境整備の早期実現のため、「一人一台端末」並びに「家庭でも繋がる通信環境」に係る情報通信機器等の整備を行う。 ②③ 負担割合(国:50%、町:50%)で補助対象事業費(17,674千円)を超えた部分は町負担。 ●情報通信ネットワーク環境施設整備 役務費 82千円 備品購入費 16,489千円(電源キャビネット購入費) ④串本町内の各小・中学校すべての児童・生徒	R2.9	R3.3	16,571	10,337,800	5,169,800	5,168,000	-	-	国庫補助事業との活用により、児童生徒1人1台端末の整備とあわせて、町内小・中学校13校において、電源キャビネットを整備した。	ICTを活用した遠隔、オンライン教育、クラウド教材の活用など、教育環境の幅が広がった。
39	串本町立小中学校情報環境整備事業	教育課	①令和2年度国の補正予算(GIGAスクール構想)への串本町における対応。 災害やコロナウイルス等感染症対策の一つとして、学校の臨時休業等の緊急時において、子どもたちの「学び」を保障できる環境整備の早期実現のため、「一人一台端末」並びに「家庭でも繋がる通信環境」に係る情報通信機器等の整備を行う。 ②生徒用タブレット端末の1人1台整備及び要保護標準保護家庭の生徒に係るモバイルルータ購入と通信に係る経費 ③●一人一台端末の購入 児童生徒用260台、予備機26台 備品購入費 12,867千円 (「3人に1台分」のうち未整備分単価44,988円×260台＝11,696,880円)・(その他端末に関する経費:単価44,988円×26台＝1,169,688円) ●家庭学習のための通信機器(モバイルルータ購入)購入費について国からの定額補助への上乗せ分 上乗せ単価14,860円×115台＝備品購入費 1,709千円 ●情報通信ネットワーク環境施設整備(端末初期設定費)単独事業分6,464千円(役務費6,464千円) ●モバイルルータ通信料 1,585千円 ●端末保守委託料 1,778千円 ④串本町内の各小・中学校すべての児童・生徒	R2.9	R3.3	24,403	20,270,269	20,270,269	-	-	-	国庫補助事業を活用しながら1人1台の児童生徒用タブレット端末を小中学校13校で808台(小学校9校599台、中学校4校209台)のうち、国庫補助対象外286台を整備した。また、家庭学習のための通信機能支援としてモバイルルータを100台整備した。	遠隔教育を行うのに必要となるタブレット端末を揃えることができたため、感染拡大に伴う臨時休業の際などに学習機会を保障する環境が整った。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要（①②③④を必ず明記） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況（円）				実績（具体的に数値等を 記載）	評価（事業目的に応じ た評価）	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当 額	国・県補 助 金	一般財源			その他
40	古座川町立古座中学校情報機器整備事業	教育課	①古座川町が整備するGIGAスクール構想に伴う古座中学校へのタブレット購入等の経費に対する串本町負担分(古座中学校運営委託料) ②生徒用タブレット端末の1人1台整備に係る経費 ③必要額: ・「3人に1台分」のうち未整備分 単価45,000円×24台=1,080,000円…① ・指導用及び予備の端末 単価45,000円×18台=810,000円…② ・その他端末に関する経費 8,525円×87台=741,675円…③ ・学校情報通信ネットワーク環境整備業務委託料 525,800円…④ ・GIGAサポーター報償費 36,000円…⑤ (①+②+③+④+⑤)×60%=1,917千円 古座中生徒の内訳 串本町48名60%:古座川町32名40% ④古座川町立古座中学校に通う串本町の生徒	R2.9	R3.3	1,917	-	-	-	-	-	事業実施なし。(古座川町が全額負担)	事業実施なし。(古座川町が全額負担)
41	古座川町立古座中学校新型コロナウイルス感染症予防事業	教育課	①感染症予防の一環として3密を避けるため、古座川町が施工する古座中学校空調設備工事に対する串本町負担分(古座中学校運営委託料)として。 ②③ ・古座中学校空調設備工事費 13,500,000円+設計管理業務委託料1,892,000円=15,392,000円…① ・夏休み短縮に伴うパート職員報酬 300,192円…② ・網戸設置工事費 480,000円…③ (①+②+③)×60%=9,704千円 古座中生徒の内訳 串本町48名60%:古座川町32名40% ④古座川町	R2.9	R3.3	9,704	7,503,475	7,503,475	-	-	-	古座中学校空調設備工事の串本町負担金7,503,475円(パート職員報酬180,115円空調設備設計監理業務委託653,400円、空調設備設置工事6,669,960円)。	支援員等の勤務日増加に対応でき、児童生徒の指導を通常通りできた。空調設備の整備により環境の改善を図り、感染防止、感染拡大防止につながった。
42	感染拡大防止事業	病院	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、町内の福祉施設、介護事業所、公共施設等におけるクラスターの発生を防ぐため、保健所による行政検査の対象とならない職員や、施設利用者、患者、生徒、催し参加者等に対するPCR検査の実施、その他感染拡大防止対策を実施する。 ②③PCR検査料に係る費用等6,000千円を病院事業会計に繰り出す。 PCR検査料25,000円×200件=5,000千円 PCR検査に係る試薬・備品その他感染拡大防止のための診療材料の購入1,000千円 ④保健所による行政検査の対象とならない職員や、施設利用者、患者、生徒、催し参加者等	R2.10	R3.3	6,000	5,316,125	5,316,125	-	-	-	PCR検査手数料、161人、4,025,000円。PCR検査実施の検査試薬等1,291,125円。	保健所による行政検査の対象とならない職員や、施設利用者、患者、生徒、催し参加者等に対するPCR検査の実施によりクラスターの発生を防ぐこととなった。

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況(円)				実績(具体的に数値等を記載)	評価(事業目的に応じた評価)	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充当 額	国・県補助 金	一般財源			その他
43	串本町立図書館換気・空調設備整備事業	教育課	①クラスターが発生しやすい図書館の3密を避けるため、更なる換気が必要ですが、既設の換気設備では換気機能が基準値以下となっているので、基準値を満たす換気設備の整備と、併せて空調設備を改修することにより、換気の効率を高め、感染予防に努める。 ②③整備工事費 19,800千円 設計委託料 2,300千円 工事監理委託料 1,000千円 エアコン整備 ・マルチエアコン ・室内機 12台 ・室外機 2台 換気設備整備(排気ダクト含) 2台 ④地方公共団体	R2.10	R3.9	23,100	18,954,100	18,954,100	-	-	-	マルチエアコン 室内機11台 室外機2台 換気設備整備(排気ダクト含) 5台 を整備した。	換気設備の整備により感染防止が図られ、施設利用者に安心・安全を提供できた。
44	串本町集会所換気機能付き空調設備整備事業	総務課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、串本町内の各地区集会所へ3密を避けるために必要な換気機能付きの空調設備を整備する。 ②③換気機能付き空調機700千円×8箇所=5,600千円 ④地方公共団体	R2.10	R3.3	5,600	3,250,269	3,250,269	-	-	-	町内集会所 8箇所 8台。	空調設備の整備により環境の改善を図り、感染防止、感染拡大防止につながった。
45	公立学校情報機器整備費補助金	教育課	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①令和2年度国の補正予算(GIGAスクール構想)への串本町における対応。 災害やコロナウイルス等感染症対策の一つとして、学校の臨時休業等の緊急時において、子どもたちの「学び」を保障できる環境整備の早期実現のため、「一人一台端末」並びに「家庭でも繋がる通信環境」に係る情報通信機器等の整備を行う。 ②③ 負担割合(国:50%、町:50%) ●学校からの遠隔学習機能の強化(WEBカメラ、マイクの購入) 備品購入費 309千円 ④串本町内の各小・中学校すべての児童・生徒	R2.9	R3.3	309	269,555	135,555	134,000	-	-	学校からの遠隔学習機能を整備するため、国庫補助事業も活用し、町内小中学校13校にWEBカメラ及びマイクをそれぞれ1セット配置した。	導入済み端末の有効活用を図りながら、ICTを活用しつつ、教師による対面指導と遠隔・オンライン教育との組み合わせによる教育実践が可能となった。
46	公立学校情報機器整備費補助金	教育課	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①令和2年度国の補正予算(GIGAスクール構想)への串本町における対応。 災害やコロナウイルス等感染症対策の一つとして、学校の臨時休業等の緊急時において、子どもたちの「学び」を保障できる環境整備の早期実現のため、「一人一台端末」並びに「家庭でも繋がる通信環境」に係る情報通信機器等の整備を行う。 ②③ 負担割合(国:50%、町:50%) ●GIGAスクールサポーター支援(研修会等の実施) 報酬 1,170千円 旅費 195千円 需用費 20千円 ④串本町内の各小・中学校すべての児童・生徒	R2.9	R3.3	1,385	-	-	-	-	-	事業実施なし	事業実施なし

No	交付対象事業の名称	担当課	事業の概要 (①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 (対象数、単価等) ④事業の対象 (交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	実施計画 上の総事 業費 (千円)	予算執行状況 (円)				実績 (具体的に数値等を記載)	評価 (事業目的に応じた評価)	
							総事業費	財源内訳					
								交付金充 当額	国・県補 助金	一般財源			その他
47	子ども・子育て支援交付金	こども未来課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により臨時休校となった4月・5月の平日の昼間に、追加して学童保育所を開設したことによる経費 ②③放課後児童健全育成事業委託料6,072千円 ④学童保育所に通う児童	R2.4	R2.10	4,275	4,275,000	1,425,000	1,425,000	-	1,425,000	町内の学童保育所5箇所へ小学校の臨時休校により、児童を自宅で待機させておくことが難しい家庭へ対応するため、放課後児童教室の開設を昼間も行い、保護者の支援及び経済活動の維持を図ることができた。	仕事を休むことが困難な方の子ども等の預かりを行えた。
48	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る 町内各小中学校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のためのマスク等購入に対する経費 ②③消耗品費274千円 ④串本町立小中学校	R2.5	R2.5	274	273,779	143,779	130,000	-	-	町内の小・中学校へ手指消毒液、使い捨て手袋等を購入した。	臨時休校から学校再開にあたり、マスク着用や消毒を奨励することで感染防止、感染拡大防止につながった。
49	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により臨時休校となり、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援として、感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するための支援。 ②③各学校1校につき1,004千円(消耗品費、工事請負費、備品購入費)を支援。1,004千円×13校=13,052千円 消耗品費917千円(各種消毒液等、デジタル温湿度計、ペーパータオル等)、工事請負費2,119千円、備品購入費10,011千円(加湿空気清浄機、大型扇風機、プリンタ等) ④串本町立小中学校	R2.9	R3.3	13,052	13,032,727	6,532,727	6,500,000	-	-	町内の小・中学校13校へ各1,000千円の支援。送風ファン37機、スポットクーラー16台、空気清浄機70、温湿度計23個、消毒液231個(500ml換算で算出)、除菌シート類558箱、電話回線増設3校、プリンタ4台、アイパッド12、プロジェクタ2台、水栓改良104箇所、修学旅行時使用バスの大型化による差額補填1校等)	臨時休校から学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援として、感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続する支援となった。
50	学校保健特別対策事業費補助金	教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①コロナ禍の学校において、安全な環境の下で子どもたちの学びの充実を図り、保護者の皆さんも安心できるよう、新型コロナウイルス感染症対策の強化に必要な経費と、教職員の資質向上等に資する研修等に必要な経費の支援を行う。令和3年2月下旬交付決定予定 ②③各学校1校につき80万円を支援。800千円×13校=10,400千円 消耗品費758千円(各種消毒液等、ペーパータオル等)、備品購入費9,642千円(加湿空気清浄機、プリンタ等) ④串本町立小中学校	R3.3	R4.3	10,400	10,448,822	5,200,000	5,200,000	48,822	-	町立学校13校に感染症対策・学習保障等に係る物品等の購入経費を支援した。 町内の小・中学校13校へ各800千円の支援。消毒液1121個(500ml換算で算出)ペーパータオル236個、段ボールシールド479個、センサー式水栓改修38箇所、レバー式水栓改修130箇所、空気清浄機26台、サーマルカメラ5台、CO2測定器22台、ファンタッチテント6脚等	町立学校13校が要望する感染症対策及び学校保障に関する物品について購入することで、感染症対策を講じながら授業を行うことができた。